

鳳凰山だより

第7号 令和6年1月新年号

タイ王国姉妹校交流で探究活動の成果発表 12月16日(土)～20日(水)

理数科2年生4名が、4年ぶりにタイ王国にある姉妹校プリンセス・チュラポーン科学高校プリラム校を訪問し、鳳鳴高校代表として、両校合同の探究活動成果発表会に参加した。

本校代表メンバーは「弁当箱の平和を保とう」のテーマのもと、大館特産「曲げわっぱ」でできた弁当箱の殺菌効果や、弁当箱にできる黒ずみの正体についての研究をまとめ、内容が伝わりやすいよう、スピードと音量に気を配りながら、オールイングリッシュで堂々の発表を行った。



現地滞在期間は3日間と短かったが、姉妹校では大歓迎を受けた。オンラインで交流を行ってきた姉妹校生徒とも念願だった対面での交流が実現し、充実した密度の濃い海外研修となった。

両校の探究発表の様子はMEETでも配信され、理数科クラスや職員室からもやりとりをライブで見ることができた。教室では、姉妹校の発表で紹介された数式を話題に盛り上がる場面もあった。



姉妹校協定延長の調印



チュラポーン校前で記念撮影



ワット・ポーの涅槃仏とともに

伝統継承を誓って 1月8日 応援団演舞



ほくしか鹿鳴ホール中ホールにて、応援団演舞会「第19回鳳凰山の下に」が開かれました。

第一部は、早稲田大コンバットマーチや東大ヴィクトリーマーチなど東京六大学応援歌を、息のそろった演舞とダンスで披露しました。

「栄冠は君に輝く」と共に野球部員が入場し、野球応援再現から第二部は始まりました。

最後は団長がこの会に携わってくださった多くの方々への感謝と、開催できたことへの喜びを述べ、大盛況の内に幕を閉じました。

これまでの努力が成果に繋がる 1月12日 共通テスト激励会



大学入学共通テスト受験の激励会で渡邊校長は、210名の受験生に向けて「どんなスーパースターも一夜だけの頑張りでも成功した訳ではありません。今までにないくらい高い点数を取ろうと意気込むのではなく、目の前の問題一問一問をきちんと解くこと。それがとんでもない成績に至る唯一の方法です。」と激励し、学年主任からは「他人に惑わされず、みんなの応援を力に変えて

頑張ってもらいたい。あとでささやかなプレゼントを渡します。」と話があり、各HRで「合格」の文字が入った飴のプレゼントが配られました。

3A吉田洋士さんが「それぞれの目標を達成できるように頑張りましょう。」と決意表明し、3C畠山典花さんは「みんなで切磋琢磨して頑張りましょう。」と呼びかけました。

野球ユニフォーム姿の3年部職員はチャンスコール「さあ行きましょう！」で激励しました。

